

# 技術者等経歴書(工事関連業務・実務経験者用)

次のとおり、実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

所在地 堺市堺区〇〇町1丁1番1号

商号又は  
名称 株式会社△△設計

代表者  
氏名 代表取締役 大阪 太郎

押印不要

技術者氏名	堺 花子	生年月日	昭和50年10月4日
最終学歴	学校名	学部・学科名	卒業年月
	〇〇県立〇〇工業高等学校	土木科	平成 6 年 3 月卒業
取得資格・免許等	免許、資格	公告等に記載されている配置する上で必要となる年数を記載してください。	年月日
	2級土木施工管理技士		月 31 日
職歴(技術者として配置する上で必要となる実務経験年数を記載)		11 年以上	
所属事業所		雇用期間	
〇〇設計株式会社	技術者として雇用されていた期間を月単位で記入してください。なお、退職と就職が同じ月になる場合は、重複して計算しないようにしてください。	平成 6 年 5 月から	
株式会社△△コンサルタント		平成 12 年 10 月まで	
××技術設計株式会社		平成 12 年 10 月から	
		平成 17 年 3 月まで	
		平成 18 年 4 月から	
		年 月まで	
		年 月から	
下水道法施行令(昭和34年政令第147号)第15条第1号から第7号までの各号のいずれかに該当する技術者は、「技術者等経歴書(下水道法施行令第15条該当者用)」を使用してください。			
1枚で職歴を記入しきれない場合は、2枚目以降を同様に作成してください。なお、その場合でも各記入欄は省略せず必ず記入してください。			
		年 月から	
		年 月まで	
		年 月から	
		年 月まで	
		年 月から	
		年 月まで	
担当した主な業務		従事期間	
府道〇〇線交差点詳細設計業務	担当していた代表的な業務を記入してください。	平成 13 年 4 月から	
△×高架橋架設工事監理業務		平成 13 年 6 月まで	
□□地区下水管布設実施設計業務		平成 15 年 11 月から	
		平成 16 年 5 月まで	
		平成 19 年 9 月から	
		平成 20 年 2 月まで	

- ・実務経験とは、専ら設計・監理・調査等の業務に従事した技術上の経験をいう。なお、実務経験期間は、当該事業所に専ら技術者等として従事するために雇用されていた期間とする。
- ・雇用期間欄は、当該事業所に技術者として雇用された期間についてのみ記入し、事務等、技術上の経験以外の期間は含まないこと。
- ・記載した経験については、必要に応じて別途確認書類を求めるものとする。
- ・下水道法施行令(昭和34年政令第147号)第15条第1号から第7号までの各号のいずれかに該当する者は、「技術者等経歴書(下水道法施行令第15条該当者用)」を使用すること。